

## ◎この革命、 愉快に 楽しく 面白く

私たちが世界中の人に問う「革命」とは、「知的革命」です。その目的、方向もはっきりしてきて、あとは具現方式を適用しながら「愉快に楽しく面白く」やっていくことのようにです。この革命、全人幸福運動は、その豊かさ、幸福が結果として革命の後にあらわされるだけでなく、日々の革命（日々の暮らし）、その過程そのものが「愉快に楽しく面白く」です。過程や環境条件に多少いろいろあっても、いやあればあるほど、「高原を馬車が行く」心境で、「愉快に楽しく面白く」たんと進めていくことのようにです。

自然界でも、例えば植物は実を結ぶのが目的であろうに、その過程での花が美しく明るく咲いているのは何故でしょうか。本来、何もかもが愉快で楽しく面白い、そんな姿が自然なのではないでしょうか。動物も植物も、皆愉快的な姿かたちをしています。赤ちゃんの笑顔を見ると、人間も本質的にそうだと思います。人間として、自然の理にそった生活をあらわし、愉快的な生き方の中で、面白い職場づくり、楽しい村づくりをしていきたいものです。

「……いつでも快適な状態、これが真の人間の姿だと思うんです。快適というのは、どうも、その言葉ではいかんですけども、本当の人間というものは、いつでも楽しい状態、酒の好きな人が酒を飲んだ状態、あんなものではない。あの気持の状態の本当のもの、これだったら、何やってもうまくいく。

……大変なことが起きたようなことでも、大変なこととは思わない。『アラ、いい調子だナ』、『ひと仕事できてきたナ』、こういうふうになれた自分。このときに“よい調子になってきたナ”と思おうと思わないのに、ワザワザこんな面倒なことと思わないのに、『ああ、これはおもしろいことだナ』と思えたらよい。思う思わんでなしに、そういう状態になって、それに飛び込んでゆける私になったらよいと思う」

（『愉快の幾千万倍の気持』より）